

部 局 名	建設部
部 局 長 名	海老原 正
部の運営方針	●第四次総合計画の基本目標「誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり（安全・安心）」では浸水対策の推進、交通安全の推進、「快適で住み続けたいとなるまちづくり（都市基盤・公共交通）」では公共交通の利便性向上、安全で快適な道路の整備、下水道の整備と普及を進めていきます。令和7年度は次の事業に取り組みます。 ・安全で快適に通行できる道路を維持するため、市が管理する道路施設を点検し、道路排水施設や街路樹、街路灯の適切な維持管理を行うとともに、船戸跨線人道橋などの橋梁や舗装の修繕を進めます。 ・道路の安全性や快適性の向上のため、土谷津地区の道路整備事業の用地取得や公園坂通りの整備に向けた検討を行います。また、歩道のバリアフリー化を行います。 ・円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図るため、幹線道路の整備では、下ヶ戸・中里線外1線の残り区間の整備に向けて、関係機関との協議を引き続き行いながら、用地取得に取り組みます。 ・通学路の安全対策を図るため、布佐小学校入口交差点や、並木小学校通学路（市道00-009号線）などの道路整備を進めます。 ・警察署・交通安全協会などと連携して交通安全教室や普及啓発活動を推進することで、交通安全意識の向上を図り、交通安全対策に取り組みます。 ・あびバスが地域に根付いた公共交通となるよう取り組みます。 ・布佐ルート実証運行バスの本格運行に向けた検討を進めるとともに、地域公共交通協議会と調整を図りながら、計画に基づき地域交通の活性化や維持確保を目指します。 ・老朽化が進む市管理の駅施設については、長寿命化個別施設計画に基づき、適切な維持管理を行います。 ・公共下水道事業は、地方公営企業として計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に、よりの確に取り組むため、現行の経営戦略を見直すとともに適正な使用料水準の検討を行います。 ・下水道ストックマネジメント事業は、ストックマネジメント計画（第Ⅰ期）に基づき、下水道施設の修繕・改築を行うとともに、第Ⅱ期計画（令和8年度～令和12年度）を策定します。 ・下水道官民連携事業は、老朽化する下水道施設の維持管理・更新を的確に実施するとともに、さらなる事業の効率化を図り、持続可能な下水道事業運営を確保するため、新たな官民連携方式である「ウォーターPPP（管理・更新一体マネジメント方式）」の導入に向けた検討を行います。 ・下水道の整備は、久寺家1・2丁目地区我孫子第6-1号幹線の整備を進めるほか、引き続き、湖北駅北口地区及び下ヶ戸西側地区の整備を

進め、下水道の普及に努めます。

- ・下水道総合地震対策事業は、第IV期計画（令和6年度～令和10年度）に基づき、マンホールトイレの設置や重要管路のマンホール耐震工事等を行います。
- ・水害に強いまちづくりの一環として、床上浸水が発生してきた地区の整備を重点的に進めます。布佐排水区、柴崎排水区では、引き続き雨水幹線を整備し、浸水被害の軽減を図ります。また、我孫子4丁目地区では、浸水対策について更なる検討を行うとともに、市内の各地区では、地域特性や水害の発生状況に応じて、応急的な水害対策工事を行います。
- ・災害を未然に防止するため、金谷排水機場の耐用年数が経過したポンプなどの設備を修繕・更新し、施設の機能確保を図ります。
- ・既設のポンプ施設や排水施設等が確実に機能するよう定期点検を行うとともに、計画的に改修するなど適切な維持管理に努めます。

部 局 名	建設部
部 局 長 名	海老原 正
部の運営方針 に対する総合 評価	●第四次総合計画の基本目標「誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり（安全・安心）」では浸水対策の推進、交通安全の推進、「快適で住み続けたいとなるまちづくり（都市基盤・公共交通）」では公共交通の利便性向上、安全で快適な道路の整備、下水道の整備と普及を進めています。令和7年度は次の事業に取り組みました。 ・安全で快適に通行できる道路を維持するため、市が管理する道路施設を点検し、道路排水施設や街路樹、街路灯の適切な維持管理を行うとともに、船戸こ線人道橋などの橋梁や舗装の修繕を進めました。また、市内25橋の定期点検を実施しました。 ・道路の安全性や快適性の向上のため、土谷津地区の道路事業の用地取得や公園坂通りの整備に向けた検討を行い、歩道のバリアフリー化を行いました。 ・円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図るため、幹線道路の整備では、下ヶ戸・中里線外1線の残り区間の整備に向けて、関係機関との協議を引き続き行いました。 ・通学路の安全対策を図るため、布佐小学校入口交差点や、並木小学校通学路（市道00－009号線）などの道路整備が完了しました。 ・警察署・交通安全協会などと連携して交通安全教室や普及啓発活動を推進することで、交通安全意識の向上を図り、交通安全対策に取り組みました。 ・あびバスが地域に根付いた公共交通となるよう円滑な運行に努めました。 ・地域公共交通協議会においては、布佐ルート実証運行バスの本格運行に向けた検討を進めると共に、地域公共交通計画に基づき地域交通の活性化や維持確保に努めました。 ・老朽化が進む市管理の駅施設については、長寿命化個別施設計画に基づき修繕工事を実施し、施設の長寿命化を図りました。 ・公共下水道事業は、地方公営企業として計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に、よりの確に取り組むため、現行の経営戦略を見直すとともに適正な使用料水準の検討を行い、令和8年4月1日から下水道使用料改定を行うこととしました。 ・下水道ストックマネジメント事業は、ストックマネジメント計画（第Ⅰ期）に基づき、下水道施設の修繕・改築を行うとともに、第Ⅱ期計画（令和8年度～令和12年度）を策定しました。 ・下水道官民連携事業は、老朽化する下水道施設の維持管理・更新を的確に実施するとともに、さらなる事業の効率化を図り、持続可能な下水道事業運営を確保するため、新たな官民連携方式である「ウォーターPPP（管理・更新一体マネジメント方式）」の導入に向けた検討を行いました。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・下水道の整備は、久寺家１・２丁目地区我孫子第６－１号幹線の整備を進めたほか、引き続き、湖北駅北口地区及び下ヶ戸西側地区の整備を進め、下水道の普及に努めました。・下水道総合地震対策事業は、第Ⅳ期計画（令和６年度～令和１０年度）に基づき、マンホールトイレの設置や重要管路のマンホール耐震工事等を行いました。・水害に強いまちづくりの一環として、床上浸水が発生してきた地区の整備を重点的に進めました。布佐排水区、柴崎排水区では、引き続き雨水幹線を整備し、我孫子４丁目地区では浸水対策の検討を行うとともに、市内の各地区では、地域特性や水害の発生状況に応じて、応急的な水害対策工事を行いました。・災害を未然に防止するため、金谷排水機場の耐用年数が経過したポンプなどの設備を修繕・更新し、施設の機能確保を図りました。・既設のポンプ施設や排水施設等が確実に機能するよう定期点検を行うとともに、計画的に改修するなど適切な維持管理に努めました。 |
|--|---|

令和 7 年度 課の目標管理書

課 名 : 道路課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

道路機能を確保するため、舗装修繕や道路排水施設の整備改修を行うと共に、道路施設の維持管理に努めます。

道路環境を維持するため、街路樹を定期的に剪定し維持管理に努めると共に、街路灯の維持管理とＬＥＤ化を進めます。

橋梁長寿命化修繕事業では、橋梁長寿命化計画に基づき、船戸こ線人道橋他 1 橋の修繕工事を行うと共に、橋梁の定期点検を実施します。

道路改良事業では、土谷津地区の道路整備事業の用地取得や公園坂通りの整備に向けた検討を行います。また、歩道のバリアフリー化を行います。

道路のバリアフリー化を図るため、点字ブロック設置や、歩道等の改良工事を実施します。

幹線道路の整備では、下ヶ戸・中里線外 1 線の道路整備として、関係機関との協議を行うと共に、順次、用地取得を行います。

通学路の整備では、布佐小学校入口交差点や、市道 0 0 - 0 0 9 号線（並木小学校）、下新木踏切道（新木小学校）の道路整備を実施すると共に、安全施設の整備を行います。

2. 課の目標への取組結果

道路が安全で快適に通行できるよう、目標に沿った適正な維持管理や道路拡幅工事、歩行者空間の確保等を実施するとともに、街路灯の保守点検、ＬＥＤ化の普及を進めました。橋梁長寿命化事業では、船戸こ線人道橋及び布湖 1 1 号橋の修繕工事を行うとともに、2 5 橋の点検を実施しました。道路改良事業では、土谷津地区の用地取得を行うとともに、公園坂通りの整備検討を行いました。幹線道路の整備では、下ヶ戸・中里線外 1 線の道路整備として、関係機関との協議を継続して行いました。通学路の整備では、布佐小学校入口交差点及び市道 0 0 - 0 0 9 号線（並木小学校）の道路改良事業が完了しました。また、下新木踏切道の改良では、用地取得に向けた協議を継続しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

幹線道路網や生活道路、通学路などの整備を進めるとともに、道路の維持管理を行いました。また、児童生徒の安全のため道路整備が終了したこと、さらに、駅を中心とした街路灯のＬＥＤ化を推奨し、市民の安全向上を図りました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

道路課所管事業を確実に執行するためには、用地買収・土木工事等の専門的な知識を有する職員の育成及び継続的な配置が不可欠であるとともに、草刈りや道路の緊急補修等、多くの市民の意見に対応するため人員の増員が必要です。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	道路障害発生時（災害時）の規制・対策		
	担当部署名	建設部 道路課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－1 防災・減災対策の推進		
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	緊急輸送道路を最優先に、災害による道路の被害状況を速やかに把握し、道路交通を確保するため、警察や国・県と連携して、通行制限や迂回路の選定など、道路交通の安全策を講じます。			
関連する市の計画等	我孫子市防災計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	道路障害発生時（災害時）の規制、対策			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	2.60 0.40
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	2.70 0.50
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度 4月1日時点	2.70 0.60
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	2.70 0.60
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	災害時の道路管理瑕疵にかかる損害賠償請求処理率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	道路が安全で快適に通行できるよう、維持管理を行うとともに、維持管理に必要な道路境界の査定や台帳管理を行いました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	道路や橋りょうの適正な維持管理は、市民の安全に直結する重要な事業であることから、現状通り推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	交通安全施設整備		
	担当部署名	建設部 道路課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－5 交通安全の推進		
	施策の展開内容	交通事故から市民を守り、交通マナーや安全意識の向上を図るため、警察などの関係機関と連携し、安全な交通環境の整備を進めます。		
事務事業の目的 ・ 概要	交通の安全を確保するため、警察や道路管理者と連携し、信号機やガードレールなどの交通安全施設の整備を図ります。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	交通安全施設整備			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	31,086	0	令和5年度（年度末時点）	0.65 0.00
令和6年度	決算見込額	31,601	0	令和6年度（年度末時点）	1.30 0.00
令和7年度	当初予算額	31,282	0	令和7年度 4月1日時点	1.75 0.00
	補正後予算額	31,282	0		
	決算額	31,247	0	令和7年度 年度末時点	1.75 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	交通安全施設工事完了率	%	目標値		100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	交通の安全を確保するため、警察などの関係機関と連携し、カーブミラーやガードレールなどの交通安全施設を設置しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	交通事故から市民を守り、交通マナーや安全意識の向上を図るため、警察などの関係機関と連携し、安全な交通環境の整備を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	道路の整備・改良	
	担当部署名	建設部 道路課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－4 安全で快適な道路の整備	
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図ります。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	・都市計画道路については、将来交通量や費用対効果を踏まえ、計画的な整備を進めます。 ・狭あい道路や交通に課題のある路線については、円滑な道路通行を図るため、道路改良・整備を計画的に進めていきます。 ・通学路の安全確保のため、関係機関との点検で指摘があった路線については、早期の安全確保に努めます。 ・ＪＲ我孫子駅と手賀沼公園を結ぶ、市のシンボルロードである「公園坂通り」は、通過交通の抑制を図り、歩行者にやさしい「歩きたくなるみち」として計画的に整備を進めます。		
関連する市の計画等	都市計画マスタープラン		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	市道 2 4－0 0 3 号線等（妻子原地先）の改良	指	土谷津地区の道路整備
	道路用地の管理		新木駅北口地区の道路整備
	開発行為の指導・道路用地の寄付帰属	指	布佐小学校入口交差点改良事業
	手賀沼公園・久寺家線の整備	指	並木小学校通学路整備
	下新木踏切道の改良		公園坂通りの整備
	高野山新田交差点改良		市道00-036号線（布佐地先）歩道整備
	市道 2 1－0 3 9 号線（高野山地先）道路整備		道路の排水整備事業
	指 下ヶ戸・中里線外 1 線の整備		駅前広場の再構築
	中峠・古戸の道路整備		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	下ヶ戸・中里線等用地取得事業 R6～R10年度 146,000千円、下新木踏切道用地取得事業 R3～R7年度 89,331千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	24,880	106,113	令和5年度（年度末時点）	2.80 0.00
令和6年度	決算見込額	146,053	112,187	令和6年度（年度末時点）	2.90 0.00
令和7年度	当初予算額	48,657	87,369	令和7年度	4月1日時点 2.60 0.00
	補正後予算額	39,011	87,369		
	決算額	21,875	75,922		年度末時点 2.60 0.00
	次年度へ繰越	17,000	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	手賀沼公園・久寺家線の整備進捗率	%	目標値	100	100	100	100			
			実績値	95	99	99	100			
活動 指標	土谷津地区の道路整備進捗率（1.2工区）	%	目標値	30	70	99	100			
			実績値	30	70	99	100			
活動 指標	土谷津地区の道路整備進捗率（3工区）	%	目標値				30	70	99	100
			実績値				30	70		
活動 指標	布佐小学校入口交差点 改良事業進捗率	%	目標値	25	75	95	100			
			実績値	25	30	95	100			
活動 指標	並木小学校通学路整備進捗率	%	目標値	0	10	40	100			
			実績値	0	10	10	100			
活動 指標	公園坂通りの整備進捗率	%	目標値	0	2	4	4	4	4	8
			実績値	0	2	2	2	4		
活動 指標	認定路線等の告示率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
成果 指標	下ヶ戸・中里線外１線の整備事業における契約 権利者数（残２１人）	人	目標値	5	5	4	12	5	5	
			実績値	0	0	0	0	0		

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	市が管理すべき道路を適切に認定するとともに、安全で快適な道路の整備を進めました。通学路についても、早期の安全確保のため、協議や測量・設計業務を行いました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	快適な道路の整備は市民の安全・安心な通行に必要不可欠なものであることから、現状通り推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	移動しやすい歩道の整備		
	担当部署名	建設部 道路課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－4 安全で快適な道路の整備		
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充 実を図ります。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。		
事務事業の目的 ・概要	障害者や高齢者、ベビーカー・車椅子利用者など、誰もが安全に安心して快適に移動できるよう、歩道整備やバリアフリー改修を進めます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	バリアフリー歩道改良			
	我孫子隧道の歩道改修			
	白山跨線人道橋延伸整備及び信号機の設置			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	3.00 0.00
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	3.00 0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度 4月1日時点	2.70 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	2.70 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	バリアフリー歩道改良進捗率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	誰もが安全に安心して快適に移動できるよう、バリアフリー整備や歩道改修等を進めています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	障害者や高齢者、ベビーカー・車椅子利用者など、誰もが安全に安心して快適に移動できるよう、歩道整備やバリアフリー改修を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	道路空間の魅力化	
	担当部署名	建設部 道路課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－4 安全で快適な道路の整備	
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図ります。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	・魅力ある道路空間にするため、歩行者や車両の安全を確保しながら街路樹を守り育てるとともに、市民による道路環境美化活動の支援を行います。 ・市民や訪れる人に、道路への親しみやまちへの愛着を深めてもらえるよう、道路愛称の普及・定着を図ります。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	道路愛称の定着化		
	道路環境美化の活動支援（アダプトプログラム）		
	街路樹の維持管理事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	50,250	0	令和5年度（年度末時点）		3.25	0.00
令和6年度	決算見込額	50,484	0	令和6年度（年度末時点）		3.50	0.00
令和7年度	当初予算額	45,187	0	令和7年度	4月1日時点	3.65	0.00
	補正後予算額	45,187	0				
	決算額	45,124	0		年度末時点	3.65	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	A-Rap登録団体数	団体	目標値	20	22	23	24	25	25	25
			実績値	20	21	21	21	20		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	市が実施すべき事業は、順調に行うことができています。また、目標に掲げているA-Rap登録団体数増加に対する取り組みとして、SNSや広報あびこによる情報発信を行いました。新規団体の加入には繋がりがありませんでした。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	街路樹の維持管理は、道路の適正管理を行う上で必須項目です。また、消耗品の支給についても、加入団体を支援する意味で今後も継続すべきものと捉えています。引き続き、事業を継続するとともに、加入団体増加に向けた取り組みを行っていきたいと考えています。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	道路環境の維持	
	担当部署名	建設部 道路課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－4 安全で快適な道路の整備	
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図ります。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	道路情報の管理や情報提供を行うとともに、良好な道路環境を確保するため、事業者に適切な許可や確認を行います。		
関連する市の計画等	橋梁長寿命化計画、舗装の個別施設計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	市道の認定、廃止及び用途廃止		道路環境の維持(経常的経費)
	放置車両の処理		道路の維持管理作業（土木センター）
	法定外公共物管理		道路管理瑕疵の処理(訟務)
	街路灯の新設及び維持管理		街路灯補助金の交付
	道路擁壁長寿命化修繕事業		車両制限の許可
	道路の維持補修		道路占用申請等の許可・承認事務
	道路台帳の修正	指	橋梁長寿命化修繕事業
	道路境界の査定		道路の放射能対策
	道路情報の提供（台帳、確定図の閲覧）		公共基準点の座標変換
継続費設定事業	船戸跨線人道橋修繕工事負担金 R6～R9 710,218千円		
債務負担行為設定事業	LED街路灯賃貸借 H28～R7年度 299,754千円、道路台帳修正業務委託（令和6年度契約分） R7年度 9,042千円、道路維持補修工事（令和6年度契約分） R7年度 30,000千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	552,612	971	令和5年度（年度末時点）	12.40 2.80
令和6年度	決算見込額	504,364	2,543	令和6年度（年度末時点）	12.40 3.50
令和7年度	当初予算額	562,500	15,987	令和7年度	4月1日時点 12.40 4.20 年度末時点 12.40 4.20
	補正後予算額	522,850	15,987		
	決算額	504,436	15,697		
	次年度へ繰越	12,615	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	年間で予定している	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
	橋梁修繕・点検事業業務の進捗率		実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	年間で予定している道路の	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
	維持補修工事の進捗率		実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	道路が安全で快適に通行できるよう、維持管理を行うとともに、維持管理に必要な道路境界の査定や台帳管理を行いました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	道路や橋梁の適正な維持管理は市民の安全に直結する重要な事業であることから、現状通り推進します。

令和7年度 課の目標管理書

課 名 : 交通政策課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- ・交通社会情勢の変化等を踏まえ、「高齢者の交通安全対策」及び自転車保険加入の義務化を含む「自転車の安全利用対策」、飲酒運転の根絶を含む「悪質・危険な運転者への対策」の強化に重点を置き、交通安全対策を推進していきます。
- ・地域公共交通計画に基づき、市内公共交通の活性化や維持確保を目指します。
- ・あびバスが地域に根付き持続可能な公共交通となるよう、安全で快適な運行を行いながら、地域に求められる運行を目指していきます。
- ・地域公共交通会議で運行する「布佐ルート実証運行バス」については、アンケート調査結果等を検証すると共に、本格運行に向けた運行方法を検討していきます。
- ・市が運行経費を負担して継続運行する路線バス「平和台線」については、持続可能な公共交通となるよう、運行方法を検討していきます。
- ・老朽化が進む市管理の駅施設については、我孫子市駅施設長寿命化計画（個別施設計画）及び包括管理業務委託で作成した修繕計画に基づく修繕を行いながら、長寿命化を図ります。

2. 課の目標への取組結果

- ・市管理の駅施設については、修繕計画に基づきエスカレーターのステップ修繕等、長寿命化を図りました。
- ・地域公共交通協議会において、地域交通の活性化・維持確保を図るため、東部地域の活性化を期待した布佐駅と天王台駅を結ぶ布佐ルート実証運行バスの運行を継続するとともに、収支率改善のため、4月1日からあびバスの運賃を150円から200円に改定したことを踏まえ、10月1日から初乗り運賃を170円から200円に改定しました。
- ・市が運行経費を負担して継続運行する路線バス「平和台線」については、地域の生活に必要な路線として確認ができたことから、令和8年9月からあびバス平和台ルートとして運行することを決定しました。
- ・令和8年1月に我孫子市公共交通協議会の承認を経て、我孫子市地域公共交通計画を策定しました。
- ・交通政策では、警察署等と連携して、保育園、幼稚園、小中学校で交通安全教室を開催したほか、交通安全運動への参加や飲酒運転根絶、自転車乗車用ヘルメット着用促進等について、ホームページや広報へ掲載し交通安全対策を推進しました。
- ・令和8年度分の自転車駐車場の定期使用料について、受益者負担のあり方に関する基本方針に基づき改定しました。また、市内の放置自転車撤去件数が減少していることから、放置自転車業務日数を縮小し経費削減に努めました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

布佐ルート実証運行バスやあびバスについては、交通不便地域の解消や買物・通院などの生活路線となるよう運行経路を一部変更し、市民の利便性が向上しました。

策定した我孫子市地域公共交通計画で公共交通を維持するための施策や方向性を定め、誰もが便利に移動できる、まちの活性化に寄与する公共交通を推進しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

- ・民間路線バス「平和台線」を、令和8年9月からあびバス平和台ルートとして運行します。
- ・自転車活用推進計画の策定について、令和8年度から着手します。
- ・放置自転車保管所の業務時間の短縮や自転車駐車場の管理業務を見直し、経費削減に努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名 担当部署等	道路の整備・改良 建設部 交通政策課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－4 安全で快適な道路の整備
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実に努めます。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。
事務事業の目的 ・概要	・都市計画道路については、将来交通量や費用対効果を踏まえ、計画的な整備を進めます。 ・狭あい道路や交通に課題のある路線については、円滑な道路通行を図るため、道路改良・整備を計画的に進めていきます。 ・通学路の安全確保のため、関係機関との点検で指摘があった路線については、早期の安全確保に努めます。 ・ＪＲ我孫子駅と手賀沼公園を結ぶ、市のシンボルロードである「公園坂通り」は、通過交通の抑制を図り、歩行者にやさしい「歩きたくなるみち」として計画的に整備を進めます。	
関連する市の計画等	第四次総合計画 都市計画マスタープラン	
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	自転車活用推進計画の策定検討	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）		1.10	0.00
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）		0.40	0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度	4月1日時点	0.50	0.00
	補正後予算額	0	0				
	決算額	0	0		年度末時点	0.50	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	庁内協議の進捗状況	%	目標値			80	100	100	100	100
			実績値			0	0	0		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調とはいえない	自転車活用推進計画は、令和2年11月に千葉県が策定したことに鑑み、県内市町村でも策定している現状です。本市も団体等からの要望もあり、自転車の活用推進を行うため、検討を進めています。また、職員で対応が難しいネットワーク計画については専門知識が必要なため、コンサルに委託し策定を進める必要があります。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	令和8年度から自転車活用推進計画の策定に着手します。また、自転車活用推進計画との整合性を図りながら令和9年度に自転車ネットワーク計画の策定に着手予定です。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：下水道課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・公共下水道事業は、地方公営企業として計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に、よりの確に取り組むため、現行の経営戦略を見直すとともに適正な使用料水準の検討を行います。

・下水道ストックマネジメント事業は、ストックマネジメント計画（第Ⅰ期）に基づき、下水道施設の修繕・改築を行うとともに、第Ⅱ期計画（令和8年度～令和12年度）を策定します。

・下水道官民連携事業は、老朽化する下水道施設の維持管理・更新を的確に実施するとともに、さらなる事業の効率化を図り、持続可能な下水道事業運営を確保するため、新たな官民連携方式である「ウォーターPPP（管理・更新一体マネジメント方式）」の導入に向けた検討を行います。

・下水道の整備は、久寺家1・2丁目地区我孫子第6－1号幹線の整備を進めるほか、引き続き、湖北駅北口地区及び下ヶ戸西側地区の整備を進め、下水道の普及に努めます。

・下水道総合地震対策事業は、第Ⅳ期計画（令和6年度～令和10年度）に基づき、マンホールトイレの設置や重要管路のマンホール耐震工事等を行います。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示した方針に基づき、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

下水道事業の経営では、令和4年度からの下水道使用料改定の効果などにより令和6年度における経費回収率の目標値を達成しましたが、経営基盤強化と財政マネジメントの向上に、よりの確に取り組むため、経営戦略の見直しを行いました。

下水道ストックマネジメント事業では、ストックマネジメント計画（第Ⅱ期）（令和8年度～令和12年度）の策定を行うほか、改築工事を行い、老朽管の更新を進めました。

下水道官民連携事業は、新たな官民連携方式である「ウォーターPPP（管理・更新一体マネジメント方式）」の導入に向けた調査・検討を行い、課題等を整理しました。

下水道未普及地区における公共下水道の整備では、下水道整備五カ年計画に基づき、概ね計画どおりに整備を行えています。

下水道総合地震対策事業では、マンホールトイレや重要管路のマンホール浮上防止工事、管路耐震化工事の設計を行い、計画に基づき、順調に事業を進めています。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

人口減少等による下水道使用料収入の減少など、下水道事業を取り巻く環境が一段と厳しさを増す中、将来にわたり安定的に下水道事業を継続し、衛生的で快適な生活環境を確保していくため、引き続き、経営戦略に基づき計画的・合理的な経営を行うとともに、毎年度進捗管理を行い、使用料水準の適正化を含め、定期的な計画の見直しを図る必要があります。

また、下水道の新規整備・普及促進・耐震化を図る一方で、老朽化した施設の維持管理を長期的な視点で計画的かつ効率的に実施していく必要があり、ストックマネジメント計画に基づく修繕・改築工事を的確に推進するためには、事業財源を確保するとともに管渠やポンプ施設等の管理に必要な技術力を蓄積・継承していくことが求められます。

こうした諸課題に対応するためには、官民連携の導入も視野に入れながら、経営と技術の両面から下水道事業運営を支える人材の育成に取り組むとともに、適切な人員配置と持続可能な組織体制の構築を図る必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	下水道事業の健全経営	
	担当部署名	建設部 下水道課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－6 下水道の整備と普及	
	施策の展開内容	衛生的で快適な生活環境を確保し、災害に強い下水道とするため、下水道施設の計画的な整備と維持管理に努めるとともに、耐震化を進めます。 また、将来にわたって安定した下水道事業としていくため、健全経営に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	下水道事業を安定的に経営していくため、自らの経営を的確に把握し、健全経営に努めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	下水道ストックマネジメント事業（第Ⅰ期）		
	下水道使用料及び下水道事業受益者負担金の賦課徴収業務		
	下水道排水設備指定工事店申請業務		
	健全経営を優先した下水道計画の確立		
	予算・決算業務による経営分析		
	下水道事業会計への繰出金(下水道課経営安定化出資分)		
	下水道事業経営戦略策定事業		
	指 下水道事業の健全経営（下水道ストックマネジメント・ウォーター P P P）		
継続費設定事業	下水道事業経営戦略策定事業 R6～R7年度 15,323千円		
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	282,270	0	令和5年度（年度末時点）		5.90	0.80
令和6年度	決算見込額	244,681	0	令和6年度（年度末時点）		5.70	0.80
令和7年度	当初予算額	234,158	124,744	令和7年度	4月1日時点	6.00	0.80
	補正後予算額	235,875	124,744				
	決算額	188,452	112,137		年度末時点	6.20	0.80
	次年度へ繰越	1,124	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	下水道使用料未納率	%	目標値		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4
			実績値		0.4	0.38	0.36	0.36		
活動 指標	下水道事業受益者負担金未納率	%	目標値		0.97	0.96	0.95	0.94	0.94	0.93
			実績値		4.48	2.82	1.53	2.27		
成果 指標	経費回収率	%	目標値	86.2	92.8	92.8	92.8	92.8	100.0	100.0
			実績値	82.5	93.0	94.3	94.6	94.5		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	未達成となってしまった指標はあったものの、概ね順調に経営することができました。引き続き、継続的な催告等により徴収率の向上に努めるとともに、定期的に経営状況を分析し、経営改善に取り組みます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	下水道事業を安定的に経営していくため、引き続き徴収率の向上に努めるとともに、計画的かつ合理的な経営を行い、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組みます。また、管渠施設の老朽化が進んでいることから、ストックマネジメント計画に基づき、長期的な視点で計画的かつ効率的に点検・調査、修繕・改築を実施していくとともに、官民連携の導入に向けた検討を進め、持続可能な下水道事業運営の確保に取り組んでいきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	下水道施設の維持管理		
	担当部署名	建設部 下水道課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－6 下水道の整備と普及		
	施策の展開内容	衛生的で快適な生活環境を確保し、災害に強い下水道とするため、下水道施設の計画的な整備と維持管理に努めるとともに、耐震化を進めます。 また、将来にわたって安定した下水道事業としていくため、健全経営に努めます。		
事務事業の目的 ・概要	老朽化施設の改築・修繕や雨水の浸入対策など、計画的かつ効率的に維持管理を進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	汚水管渠維持管理事業			
	汚水中継ポンプ場維持管理			
	総合地震対策事業（第Ⅳ期）			
	排水設備の審査及び竣工検査			
	流域関連公共下水道不明水対策事業（第Ⅰ期）			
	久寺家汚水中継ポンプ場の圧送管閉塞事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	久寺家污水处理場施設維持管理業務委託 R6～R7年度 13,398千円			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	102,721	0	令和5年度（年度末時点）		2.75	0.40
令和6年度	決算見込額	122,257	0	令和6年度（年度末時点）		1.65	0.40
令和7年度	当初予算額	79,039	82,550	令和7年度	4月1日時点	2.85	0.40
	補正後予算額	255,193	82,550				
	決算額	58,284	72,512		年度末時点	3.50	0.40
	次年度へ繰越	177,310	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	マンホール浮上防止設置箇所 （第Ⅲ期）	件	目標値	23	27					
			実績値	23	26					
活動 指標	マンホールトイレ設置箇所（第Ⅲ期）	件	目標値	16	0	8				
			実績値	16	0	0				
成果 指標	総合地震対策事業進捗率（第Ⅲ期）	%	目標値	80	82	94				
			実績値	80	82	82				
成果 指標	不明水対策事業進捗率（第Ⅰ期）	%	目標値	38	59	79	100			
			実績値	38	59	79	100			
活動 指標	マンホール浮上防止設置箇所 （第Ⅳ期）	件	目標値					28	27	28
			実績値					35		
活動 指標	マンホールトイレ設置箇所（第Ⅳ期）	件	目標値					8	8	8
			実績値					8		
成果 指標	総合地震対策事業進捗率（第Ⅳ期）	%	目標値				14	31	54	77
			実績値				14	31		

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	我孫子市下水道総合地震対策計画に基づき、地震対策工事と設計業務を行いました。また、手賀沼流域下水道関連公共下水道不明水対策5カ年計画（第Ⅰ期）に位置付けられた事業について、計画どおり実施しました。引き続き、地震対策事業及び不明水対策事業に計画的に取り組めます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	総合地震対策事業では、大規模な地震に備え、災害が発生しても下水道施設の機能が維持できるよう、引き続き事業を実施していきます。また、不明水対策事業では、千葉県流域下水道市町で協調して公共下水道の不明水対策に取り組んでおり、引き続き対策事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	下水道管路の整備	
	担当部署名	建設部 下水道課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－6 下水道の整備と普及	
	施策の展開内容	衛生的で快適な生活環境を確保し、災害に強い下水道とするため、下水道施設の計画的な整備と維持管理に努めるとともに、耐震化を進めます。 また、将来にわたって安定した下水道事業としていくため、健全経営に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	下ヶ戸西側地区の下水道管路整備	
	指	久寺家地区の下水道管路整備	
	指	湖北駅北口(東側・西側)地区下水道管路整備	
		青山地区の流域下水道への接続事業	
		高野山地区の下水道管路整備	
	指	下水道施設の総合地震対策（マンホール浮上防止工事・マンホールトイレ設置）	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	239,481	221,188	令和5年度（年度末時点）	3.35 0.00
令和6年度	決算見込額	345,812	0	令和6年度（年度末時点）	3.50 0.00
令和7年度	当初予算額	407,595	0	令和7年度 4月1日時点	2.90 0.00
	補正後予算額	347,334	0		
	決算額	297,516	0	令和7年度 年度末時点	2.95 0.00
	次年度へ繰越	16,390	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	公共下水道管布設延長	m	目標値	1,118	1,127	767	1,063	1,034	764	883
			実績値	579	795	1,474	1,026	1,038		
成果 指標	公共下水道管布設総延長	m	目標値	330,728	331,855	332,622	333,685	334,719	335,483	336,366
			実績値	330,189	330,984	332,458	333,484	334,522		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	下水道整備五カ年計画に基づき、下ヶ戸西側地区、湖北駅北口地区及び久寺家地区で公共下水道の整備を進めており、概ね計画通りに行うことができました。引き続き、下水道未普及地区の整備を計画的に進めていきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	手賀沼等の公共用水域の水質改善を図る上で必要不可欠な事業であるため、引き続き推進していきます。

令和7年度 課の目標管理書

課 名 : 治水課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- ・排水区の整備では、床上浸水が発生してきた布佐排水区、柴崎排水区について、引き続き重点的に整備を進めます。また、浸水被害軽減対策が完了している我孫子4丁目地区において、令和5年に7件の床上浸水被害が発生したため、さらなる浸水被害軽減対策を検討します。浸水被害に対する自助への取組みとして、想定される最大の降雨における内水浸水想定区域図を作成し、公表及び周知します。
- ・排水施設の維持管理では、既設のポンプ施設や排水施設等が確実に機能するよう定期点検を行うとともに、個別施設計画を策定し、計画的に改修するなど適切な維持管理に努めます。3か年継続事業の最終年度である金谷排水機場の更新工事は、耐用年数が経過したポンプなどの設備を修繕・更新し、施設の機能確保を図ります。
- ・河川防災の強化に向けた取組みでは、関係機関と連携して水防演習、情報伝達演習を行うとともに排水ポンプ車訓練などを行います。また、引き続き国・県に対して、手賀沼の予備放流を要請するとともに、利根川・手賀沼の堤防強化を要望します。
- ・市民・事業者による雨水流出抑制の推進では、開発行為等において雨水流出抑制施設の設置を指導するとともに、住宅への雨水貯留タンクの設置を推進します。
- ・河川愛護事業では、地域の共有財産である利根川の河川清掃を行います。

2. 課の目標への取組結果

- ・布佐排水区及び柴崎排水区の整備工事について、付帯工事の一部で繰越して実施することとなりましたが、金谷排水機場更新工事は予定どおり完了しました。
- ・内水浸水想定区域図を作成し、公表及び市民への周知を行いました。
- ・水防演習及び排水ポンプ車操作訓練を関係機関と連携し実施しました。
- ・雨水貯留タンクの設置などの雨水流出抑制の推進を年間を通して行いました。
- ・河川愛護事業として、利根川の河川清掃を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

事業は概ね順調に進捗していますが、一部繰越した事業は、支障物や埋設物への対応、関係機関や近隣住民との度重なる協議の実施などの理由により、不測の期間を要しました。国や県、関係機関との連携、市民や事業者へのPRについては年間を通して実施しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

支障物や埋設物、関係機関や近隣住民との協議を事前に調整することで、工事が計画的に実施できるよう、調整を図っていきます。また、国や県、関係機関との連携、市民や事業者へのPRについては、年間を通して継続していくとともに、新たな取り組みも取り入れていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	河川防災の強化に向けた取組み		
	担当部署名	建設部 治水課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－1 防災・減災対策の推進		
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	・河川の氾濫を防ぐため、利根川や手賀沼の更なる堤防強化を国・県に働きかけていきます。 ・台風などにより手賀川と手賀沼の水位上昇が予想される際には、事前放流を引き続き実施するよう国に要請していきます。			
関連する市の計画等	我孫子市水防計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	河川防災要望活動			
	河川合同巡視			
	洪水時の水防活動			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	282	0	令和5年度（年度末時点）	0.40 0.00
令和6年度	決算見込額	282	0	令和6年度（年度末時点）	0.40 0.00
令和7年度	当初予算額	315	0	令和7年度 4月1日時点	0.40 0.00
	補正後予算額	315	0		
	決算額	313	0	令和7年度 年度末時点	0.40 0.00
	次年度へ繰越				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	堤防強化の要望件数	件	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	1	2	2	2	2		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	利根川等の堤防強化について、国や県に要望活動を行い、手賀沼・手賀川の水位上昇が予想される際には、事前放流を国に要請しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、河川氾濫を防ぐ堤防強化について国や県に働きかけるとともに、手賀沼・手賀川の水位上昇が予想される際には、事前放流を国に要請していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	排水区の整備	
	担当部署名	建設部 治水課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－2 浸水対策の推進	
	施策の展開内容	市街地での浸水被害を解消するため、計画的な雨水幹線などの整備を進めます。 さらに、開発事業者への雨水流出抑制施設設置の指導などにより、浸水対策の普及を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的な雨水排水施設の整備を進めます。		
関連する市の計画等	我孫子市手賀沼流域関連公共下水道事業計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指 柴崎排水区の整備（柴崎幹線整備事業）		
	指 布佐排水区の整備		
	指 我孫子4丁目緊急浸水対策		
	浸水想定区域図の公表		
継続費設定事業	柴崎排水区の整備事業 R6～R7年度 700,000千円、R7～R9年度 831,400千円、布佐排水区の整備事業 R7～R8年度 624,000千円、我孫子4丁目 20,000千円 布佐・柴崎 R6～R7 17,500千円		
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	358,998	205,051	令和5年度（年度末時点）		3.95	0.60
令和6年度	決算見込額	72,190	418,011	令和6年度（年度末時点）		3.95	0.60
令和7年度	当初予算額	1,251,940	558,500	令和7年度	4月1日時点	3.95	0.60
	補正後予算額	1,219,516	0				
	決算額	183,312	0				
	次年度へ繰越	1,036,198	45,389		年度末時点	3.95	0.60

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	柴崎排水区の整備率 （総延長 約1950m）	%	目標値	7.7	10.9	11.0	12.0	21.0	22.0	32.0
			実績値	7.7	10.9	10.9	10.9	10.9		
活動 指標	布佐排水区の整備率 （総延長 約1910m）	%	目標値	6.6	13.5	22.7	33.0	34.0	39.0	44.0
			実績値	6.6	6.6	13.5	22.5	33.0		
活動 指標	若松第1～第5排水区の整備率 （総延長 約1270m）	%	目標値	82.7	100	100	-	-	-	-
			実績値	79.9	84.1	100.0	-	-	-	-
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
（ほぼ順調	支障物や埋設物への対応、関係機関や近隣住民との協議などで工程に遅れが生じている排水区もありますが、概ね順調に進捗しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	床上浸水が発生している地区の整備を重点的に進める必要があります。週休2日制、中東情勢による資材調達遅れや資材価格や人件費の上昇などの社会情勢の変化もありますが、交付金を活用しながら計画的に浸水対策を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	排水施設の維持管理		
	担当部署名	建設部 治水課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－2 浸水対策の推進		
	施策の展開内容	市街地での浸水被害を解消するため、計画的な雨水幹線などの整備を進めます。 さらに、開発事業者への雨水流出抑制施設設置の指導などにより、浸水対策の普及を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	既存の雨水排水施設の機能を確保するため、適切に維持管理していきます。			
関連する市の計画等	金谷排水機場長寿命化計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	排水施設維持管理			
	排水施設維持補修			
	指 金谷排水機場の改修			
	指 大規模下水道管路特別重点調査等事業			
継続費設定事業	金谷排水機場の改修事業 R5～R7年度 1,155,000千円			
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	139,254	0	令和5年度（年度末時点）		4.95	0.15
令和6年度	決算見込額	480,928	69,300	令和6年度（年度末時点）		5.00	0.15
令和7年度	当初予算額	343,660	485,100	令和7年度	4月1日時点	5.00	0.15
	補正後予算額	342,424	485,100				
	決算額	335,347	485,100		年度末時点	5.00	0.15
	次年度へ繰越						

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	排水施設（22箇所）点検回数	回	目標値	192	192	192	192	192	192	192
			実績値	192	192	192	192	179		
活動 指標	金谷排水機場長寿命化進捗率	%	目標値			10.0	80.0	100		
			実績値			6.0	38.0	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	限られた予算と人員で排水施設の維持管理を行い、機能を確保できましたが、施設の老朽化や燃料費の高騰などから、業務量や維持管理費用が増大しています。また、金谷排水機場の改修事業については、令和8年3月に完了しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	施設の老朽化という課題がありますが、機能を確保できるよう適切に維持管理を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	市民・事業者による雨水流出抑制の推進		
	担当部署名	建設部 治水課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－2 浸水対策の推進		
	施策の展開内容	市街地での浸水被害を解消するため、計画的な雨水幹線などの整備を進めます。 さらに、開発事業者への雨水流出抑制施設設置の指導などにより、浸水対策の普及を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	雨水流出を抑制するため、開発事業者や建築事業者に対し調整池や浸透ます等の雨水流出抑制施設の設置指導を行うとともに、住宅への雨水貯留タンクの設置を推進します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	雨水貯留タンクの設置補助			
	開発等への雨水流出抑制指導			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	152	0	令和5年度（年度末時点）	0.70 0.00
令和6年度	決算見込額	152	0	令和6年度（年度末時点）	0.70 0.00
令和7年度	当初予算額	400	0	令和7年度 4月1日時点	0.70 0.00
	補正後予算額	400	0		
	決算額	251	0	令和7年度 年度末時点	0.70 0.00
	次年度へ繰越				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	雨水タンク設置による雨水抑制量	㎡	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	1	3	1	3	1		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	開発等の事業者に対して、雨水流出抑制施設の設置指導を行い、雨水貯留タンクの設置を推進しました。また、雨水貯留タンクの設置補助については、少しずつ普及は進んでいますが低調であるため、引き続き普及啓発が必要と評価します。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	気候変動等により、降雨量が増加していることから、河川への負担を軽減するため、更なる雨水流出抑制が重要であり、今後も継続して推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	河川愛護事業		
	担当部署名	建設部 治水課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－2 自然環境の保全		
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	貴重な水と緑の空間である利根川が、地域の共有財産という理解を深めるとともに、豊かな自然環境の保全を図るため、ゴミの不法投棄の監視や市民などの協力を得て利根川堤防敷の清掃を実施します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	河川愛護事業（利根川河川清掃）			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	9	0	令和5年度（年度末時点）	0.26 0.00
令和6年度	決算見込額	8	0	令和6年度（年度末時点）	0.26 0.00
令和7年度	当初予算額	10	0	令和7年度 4月1日時点	0.26 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	0.26 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	河川清掃実施回数	回	目標値	1	1	1	1	1	1	1
			実績値	0	1	1	1	1		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	利根川河川清掃を実施し、市民と共に、共有財産である利根川に対する理解を深めることができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	共有財産である利根川への理解を深めるため、今後も継続して実施していきます。